



毎月11日は「人権を確かめあう日」です。

コロナウイルスよりも怖いもの

今、この瞬間においても、最前線で治療にご尽力されている医療従事者の皆様、この状況の下でも社会や生活を支えて下さっている皆様に深く感謝いたします。

さて、一部都道府県を除き、緊急事態宣言が解除されました。これから、コロナの時代の新たな日常生活がスタートします。

このような中、SNSを中心に、感染者やその家族、医療従事者等に対する偏見やいじめ、差別、また誹謗中傷の書き込みが行われていることをご存知でしょうか？

各地の病院では、集団感染が発生しています。そのような状況の中、医療従事者の皆様は、感染リスクと背中合わせの厳しい環境の下、強い使命感を持って懸命に治療に当たっておられます。すべては私たちの命を救うためです。そのような方やそのご家族への差別など、決してあってはならないことです。

また、医療従事者とは別に、仕事等で感染された方もおられます。どんなに予防しても、感染してしまうことがあります。どのような経路であれ、感染したことは、悪いことでも何でもなく、むしろ一日も早く回復できるように思いやるべきではないでしょうか？ 誰しも好き好んで感染しているわけではありません。このような差別は許されることではないのです。

感染のおそれを感じながら、様々な行動制約の下での生活、また、先の見えない状況は、不安やストレスを生み出します。しかし、そういった不安な気持ちが、他の人への差別や、誰かを排斥しようとする行動につながることに、強い恐怖を覚えます。それはウイルスよりももっと大きな悪影響を、私たちの社会に与えるのではないのでしょうか？ 敵は人間ではなくウイルスです。

誰にでも感染リスクはあります。感染者やその家族に偏見を持つのではなく、今こそ支え合いの気持ちが必要ではないのでしょうか？

宇陀市人権啓発活動推進本部

※このピラへのご意見・ご感想は

☎ 0745-82-2147 または jinken@city.uda.lg.jp

